

多 づ くり

題字

相田コマ顧問

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026

調布市小島町2-36-21

TEL 042-485-2214

創立三十周年を迎えた現在(いま)

部長 根岸 玲子



「デフレ脱却」「景気回復」の兆しの中、今期女性部は創立三十年周年を迎え、新年二月二日、大勢のご来賓の皆様とともに記念祝賀会を開く

ことが出来ました。心より感謝申し上げます。

「地域社会に貢献する商工会婦人部」を目指し、一九八五年三月、一五〇名の部員とともに誕生！

初代相田コマ部長をはじめとし、部員の皆様と十年間にわたり基礎作りをし、二代目津金部長に、そして三代目山口部長に繋げられ、山口部長が十一年間に亘り女性部を不動のものとして誇れる女性部とした。調布から東京へ、そして関東から全国へと他の商工会女性部を知る機会を与えてくれました。そして交流も少しずつ出来てきたもの頃からです。

四代目内山部長の時代に東京代表で関東大会に出させて頂き、更に交流ができて、茨城県つくば市で全国大会が開催されたときには、私達調布

も交流会に参加、ますます全国へと。そして今年十月七日・八日、全国大会が東京NHKホールにやってきました！是非成功させなくては…皆さん、ご協力下さい！

さて女性部は、二年続きで商工まつりが荒天のため中止となり、皆様の厚意のバザー商品が販売できず、大きな痛手となるが…逆に青年部と商業部会に助けられ、調布飛行場まつりでチャリティーバザーで商品販売するチャンスを取ったこと、そして一緒にブースで働けたこと。

また、商業部会「調布まちなかウォーキング2014」で、出発・ゴール地点の調布駅南口広場で模擬店出店ができ、助けられました。

女性部ならではのお好み焼き「ふみ焼き」、フランクフルト、豚汁…少し肌寒くなった時期なので、お客さまもホッ！と笑顔が。

青年部、商業部会、事務局と深い交流が出来たと思います。

部員の皆様も疲れも見せず交通の便の悪い飛行場まで足を運び、また、

南口広場でも頑張り、時間を見ながら精一杯手伝い、自分の仕事に戻り、用事を済ませて、また戻って手伝うボランティア精神には本当に頭が下がります。

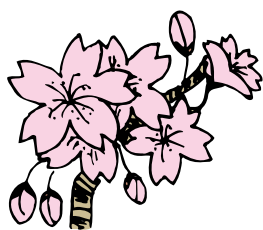
それぞれ事業を持ちながら、上手に時間を作り、お手伝いに…。

また、女性ながら搬入時間は、朝早いので六時三〇分〜七時位にトラックを出し、一軒一軒回り荷物を積んで現地向かう。

食べ物の仕込みも夜中から早朝になり、事務局が集めて来てくれる。大変な仕事を楽しそうにしている部員と事務局の人達。このように素晴らしいスタッフがいるから事業が進められます。

私達女性部は、「三つの誓いのことば」を基本にひとり一人の力をお借りし、素晴らしい女性部、楽しい女性部に、そして誰もが参加できる女性部を目指し頑張っていけたらと思っています。

今後ともご協力宜しくお願い致します。



第二十九回通常

部員総会を開催

日時

平成二十六年四月二十五日(金)

午後 六時

会場 商工会館3F研修室

部員総数 一四四名

出席者 本人 三十三名

委任状 六十三名

計 九十六名

来賓 九名

議案

第一号議案

平成二十五年度事業報告並びに

収支決算報告承認について

第二号議案

平成二十六年事業計画並びに

収支予算決定について

第三号議案

役員欠員に伴う補充について

以上の議案が上程され、第一号、

第二号、第三号議案ともに満場一致

にて可決されました。

総会終了後【スカイレストランプ

レスタージ】にて懇親会が行われ、

来賓の皆様を含め和気あいあいとし

た雰囲気です。新しい部員の方々と交

流を深める場となり、商工会女性部

の歌、四つのお願など全員で歌い

一体感のある懇親会となりました。

研修委員 増田弘子

た つ く り



第六十八回 春の多摩川 クリーン作戦に参加して

平成二十六年四月十三日(日)、天候にも恵まれとてもお掃除日和でした。「きれいな親しまれる川」にすることを目的とした河川敷の清掃という事で、当日午前八時に根岸部長をはじめ部員十名が参加しました。女性部のあざやかなピンクのジャンパーに着がえ、お掃除用具を受けとり清掃開始です。

市長さんのご挨拶があり今回で六十八回とのことでした。また、国土交通省の所長さんのお話によれば、多摩川はとても美しい川であるとのことでした。

その自然がいっぱいの多摩川を少

年野球・サッカークラブ・自治会の方々と共にコミュニケーションをとりながら清掃することによって、安心して遊べる多摩川であってほしいものです。

午前九時終了、私の心もすがすがしい朝となりました。

地域振興委員 上別府昭子

【春】四月十三日(日)

全体参加人数 1,121名

女性部員参加人数 10名

ごみ収集量

可燃 0.52トン

不燃 0.31トン

ビン 85本

缶 572本

ペットボトル 758本

粗大 0.5トン



一泊視察研修に参加して

去る平成二十六年七月八日、関東ブロック商工会女性部交流研修会を目的とした一泊視察研修に参加いたしました。

群馬県民会館ベイシア文化ホールが会場となり、一都十県十一プロック、参加代表が「女性部活動に参加して」・「女性部活動と地域振興まちづくり」のテーマで一人十分間の持ち時間に、表現力 好感度 うったえる力等を構成した講演を各代表がアイデアを取り入れて主張します。

最優秀賞に輝いた新潟県代表は、佐渡の芸者衆の手ほどきで「両津甚句」、「佐渡おけさ」を習得して、街興しをした状況を熱演されました。応援外(他県)の代表で感心させられる講演の方も多数おられました。東京代表は、武蔵村山市商工会女性部で、サブタイトル「絆」と題して、商工会を通して街の人々とのつながりのテーマでした。

宿泊の伊香保温泉「ホテル小暮」で手足を伸ばし、その後は、来賓の原島芳一商会会長、柳澤勇商工会副会長、安立千鶴子事務局長、内倉千明事務局の方々と親睦を深めることが出来ました。

翌日は、世界文化遺産登録になった富岡製糸工場の見学、ガイドさん



研修委員 白井嘉奈子

の解説により和洋を取り交ぜた独特の建物や設備を見学できました。建物は木の骨組に西洋のレンガ積みを合わせ、内部は当時世界最大級の規模を誇った機械設備を用い、まゆから大量生産で生糸を製造し日本の絹産業を柱に現在の産業の糸口になったことが、良く理解できました。日本の産業発展を成し遂げた機械を目の前にして、学生時代に学んだ日本の輸出産業の主である絹織物の素晴らしさが良くわかりました。建造物が創業時の姿を残したまま保存される、これを後世に残してくれた方々の努力と熱意が感じられました。道の駅で買い物後、上信越道 関越道 圏央道を経て、これを機に女性部の益々の発展を期し調布への帰路につきました。

献血運動の協力

八月二十七日(水) 例年通りの献血運動のお手伝いが調布駅南口広場にて行われました。若い母親で三人の小さな子供連れで献血に協力して下さり、お子さんもおとなしく待っていたので感心しました。

中学生か高校生か分かりづらい学生さんに声をかけ「まだ十四才です」と言われ残念…。

例年猛暑の中での行事でしたが、今年は時折霧雨が降り急な気温低下ですごく涼しく楽でした。献血のもりでせつかく寄って下さった方が何人かいましたが、待ち時間が少し長く帰られてしまいました。血液が不足気味なのに予定人数に到りませんでした。急な気温低下で血管が収縮して採血できなかった方もいてそんなこともあるのだということ学びました。

地域振興委員 田中良子



共同募金事務協力

九月五日午後、総合福祉センターにて共同募金のチラシと集金袋を数えるお手伝いに参加しました。今回で二回目です。このお手伝いに参加するまでは、自治会から配布され、募金袋にお金を入れてお渡しするだけでしたが、自分が準備に係わってみると、数えるだけの簡単な作業ではありませんが、単調なうえに無言で行わないと数が分からなくなってしまう為、思ったより大変です。

この募金袋が配布され、ひとりでも多くの方々の善意が集まることを願い作業しました。何事も準備が大事で、準備に係わる方々がいらっしやるという事を忘れずに、今後でもできる限り参加したいと思います。

研修委員 相田悦子



第十六回女性部

全国大会に参加して

『歴史のふるさと・アジアの玄関・福岡へようこそ・・・』

今年の商工会女性部全国大会は、十月二十二日と二十三日に福岡県で開催されました。福岡はアジアの玄関と言われる通り観光地は人、人、人、でした。私たちが行った太宰府天満宮も前日に外国の船が着いたとかで、たくさんの方の外国のお客様であふれていました。

全国大会の会場は、福岡ヤフードームのとなり「ヒルトン福岡シーホーク」でしたが、全国から集まった三千名以上の女性部の方々と、会場は花が咲いたような賑わいでした。『女性の魅力で輝く未来を』のスローガンのもと女性部の果たすべき役割を再認識すると共に、将来を担う世代が希望を持って第一歩を踏み出すことが出来るような未来づくりを目指してさらなる飛躍との熱い思いで集まった一同、あふれんばかりの熱気です。

会が始まり、まず全国六つのブロック代表者の主張発表が行われました。女性部員として取り組んでいる活動について発表され、地域の女性リーダーとして地域の活性化や街づくりに貢献している様子を表現力

豊かに発表されました。

東北・北海道ブロックは、女性部の手作りカレーコロッケで町おこし。

関東ブロック代表は、新潟県佐渡女性部。継承者がいなく心配されている両津甚句、佐渡おけさの踊り「大切な文化」を消さないようにと女性部員さんが受け継いでそれが活気ある町づくりに貢献。

中部ブロックは、軽トラックでの移動販売の取り組み。店が無くなってしまう山間地域の要望を聞いて月二回の訪問をしたり、更にはお客様の手作りの梅干しや漬物等を預かって売ってあげたりと地域の人々が生き甲斐を取り戻す橋渡しの役割。また、地元商店の品物販売も女性部の事業として定着発展。

近畿ブロックは、地域の「発酵文化」に注目。

中国・四国ブロックは、ノルディックウォーキングの開発、特産品の開発、湯梨浜天女伝説にちなんで、「天からのおくりもの」のネーミングでおふくろ弁当を作り販売。

九州ブロックは、「今年の最優秀賞に輝く」出来る時間出来ることをする、年間の作業計画作成。「地域の花」花いっぱい椿の花で花ジャム、草木染、実からは黄金に輝く椿油で町おこし 部員のみならず黄金に輝く。

六ブロック各々に素晴らしい発表ばかりで予想できませんでした。結果は中部ブロック能美市商工会女性部「笑顔でつなぐ移動販売月二回」が特別賞に選ばれました。

ブロック発表後の基調講演は、三〇〇年続く大分県の酒造の女将さんのお話でした。日本酒業界の厳しさの中で趣味のキルト作りをいかして、酒とキルトの土蔵まつりを始めたり、自然の地熱を利用して「地熱食品」を作り、新しい『食』の提案をしたり、「山口流町おこし」と名付けられる素晴らしい活躍をなさっているお話でした。

毎年のことながら女性部の大きなパワーをたくさんいただいで帰ってまいりました。

平成二十七年第十七回の全国大会は、いよいよ東京で開催されます。私たちも温かくお迎えし心をこめてご接待をしたいと思えます。部長の指導のもと皆様のご協力を色々とお願ひすることになると思いますが、どうぞ皆様宜しくお願ひいたします。(第十七回全国大会は、十月七日・八日です)

副部长 松村徳子



歳末たすけあい運動 事務協力

十一月五日(水)総合福祉センターにて調布市社会福祉協議会の事務協力を行いました。例年のごとくポスター折り、チラシ・袋の枚数を数えて輪ゴムで括る作業ですが、呑気におしゃべりしながらできました。皆真剣に数を間違えない様に一所懸命です。九名の出席でしたが、皆さん慣れてきたこともありいつもより早く終了することができました。終わって皆でお茶呑みして和気あいあいでした。

地域振興委員 田中良子

創立三〇周年記念祝賀会

二月二日(月)、調布クレストンホテルにおいて、三月に迎える創立三〇周年の記念祝賀会を開催しました。御公務でお忙しい中の長友市長を始め、女性部を支えて下さっている一六名の御来賓の方々と多数の部員の皆様が出席され、華やかな会となりました。

林副部長の司会のもと、松村副部長の「暖かいご理解とご支援を有難うございます。ささやかにと思いましたが、このようにお祝いでできる事をうれしく思います。」との開会の挨拶の後、部員全員で商工会女性部の誓いの言葉を斉唱しました。

根岸部長の挨拶では、各代の部長の偉業に敬意を払いながら、三〇年をたどられました。「昭和六〇年設立、初代相田部長は、一〇年に亘り



御尽力され基礎をしっかりと創ってくださいました。そして二代津金部長はそれを継承されました。三代山口部長の時代、中小企業には大変な時期で部員減少が続く中、増強を図りました。又、都連副会長を兼務され

ながら、部員の全国大会への参加など意識の向上に努め、女性部を不動のものとしてくださいました。四代内山部長は、時の東日本大震災に際して物資をいち早く運ぶ等、その貢献は目を見張るものがありました。そして当代は、様々な災害義捐金協

力や、各活動に資金を備えるべく、打って出る活動を始めました。市の生活文化スポーツ部八田部長の御支援を得て世界陸上予選会（味スタ）での模擬店初参加、そして国体。女性部独自の「ふみ焼」が生まれました。また、青年部の皆様、商業部会の皆様の暖かい協力を得て、様々なイベントで活動させていただきまし

た。三〇年を迎えられましたのも多くの皆様のおかげと感謝申し上げます。これからも三五年、五〇年に向けて宜しくお願い致します。」

続いて、長友市長からは、「調布は市制六〇周年の年、協力して行事を行いましょう。そして、女性部の尊い活動は、街の振興に大きくかわって来ています。市の発展と共に

に色々な思いがあると思いますが、五年後のオリンピックに向けて希望を持って活動、協力して行きましょう。」とのお言葉をいただきました。

原島会長からは、「都連の中で一番しっかりした団体ではないでしょうか。平素、ピンクのジャンパーで様々な活動に東奔西走して商工会のPRをしていただいている。有難うございます。市内商工業の発展の為に御協力いただきたい。」と御挨拶いただきました。

次に、あでやかなドレス姿でステージに立たれたのは、部員でソプラノ歌手の新藤昌子氏です。お祝いの歌を披露してくださいました。

初めに「花は咲く」。復興支援曲として御存じの事と思いますが、それは格調高く、澄んだ歌声で、心に沁みいるようでした。

二曲目は、椿姫より「乾杯の歌」。祝宴にふさわしい曲を迫力あふれるすばらしい声で歌いあげられ、大輪の華をそえてくださいました。

新藤昌子氏は、現代音楽のスペシャリストで、オペラ、オペレッタに出演。二〇〇八年からは、六〇ヶ国の国歌を原語で献歌する活動に力を入れられ、国歌外交官として活躍されています。

今回は、お祝いにと御厚意で出演



して下さいました。御母様の新藤綾子さんは、創立当初からの部員で、慈愛に満ちた人柄で慕われ、長年に亘り副部長として支えてくださいました。

愈々、いつもお世話になつている青年部増田部長の音頭で乾杯となりました。「青年部と女性部は、自身の意志を持って参加している部で、近い立ち位置にいます。良い意味で啓発しながら活動していきましよう。」とのお言葉をいただきました。

懇親の部では、おいしいフランス料理をいただきながらの歓談の後、増田幹事によるインタビューの時間となりました。

「どのような時代でしたか？」の質問に答えてくださったのは、三代山口部長、四代内山部長、初代相田部

長時代からの新藤元副部長、二代津金部長時代からの武藤元会計、三代部長時代の桜井元会計監査、そして創立当初から歴代の部長と活動を共にされた杉崎幹事の皆様です。初めて何う話やあふれる思いなど、誌面では伝えきれず申し訳ありませんが、箇条書きで書かせていただきました。

*昭和六〇年三月、婦人部（当時）の始まりは、「設立にあたり各商店会から発起人として代表を出して欲しい。」という話からでした。

*初代相田コマ部長は、皇后さまのようで、声の出し方から指導を受け、とても勉強になりました。そして、多くのレールを敷いて下さり、部員も色々勉強しながら基礎を築いていきました。

*歴代の部長さんから、女性としてのエチケット、物腰、心遣い、女性はいかにあるべきか等勉強させていただきました。

*山口部長の時、女性を大事にする時代、名称を婦人部から女性部に改めました。

*お揃いのパーカーをつくるので見に行つた際、「この色！」と華やかなピンクに即決しました。

*多くの皆様と交流が持てたのは、後押ししてくれた女性部があつてくれたお陰です。



*活動は、和気あいあいと楽しく走馬灯のようにめぐります。旅行の積み立ても始めました。

*根岸部長が、これだけの事業をされていることに、敬意を払いたいです。

*商工会があるかぎり、皆さんのお役に立てるような会であるように三〇年を節目に新たな一步を踏み出して欲しいです。

最後に、杉崎幹事から、未来に輝く青年部の方々と、女性の英知輝く女性部になりましょう！ほほ笑み的心を忘れず部長を支えて行きましょう！と熱い思いが伝えられました。

余興の部では、東京農業大学で吟

詠の講師をされている加藤会計が、歴代部長の故郷を思つて「ふるさと」を情景豊かに歌ってくださいました。続いて、室生犀星「小景異情」を吟じてくださいました。奥深い響き、余韻にあらためて、すばらしいと感じました。

次に、新藤さんが今度は昨年大流行した「アナと雪の女王」から「ありのままで」をすてきな高音で、後半は手拍子と共に軽やかに歌ってくださいました。

さて、がらりと変わって入口から登場したのは、「としちゃん」こと押井さんと木崎幹事です。きらきら輝くイルミネーショングラスをかけ、華やかな衣装で軽やかにステップを踏みながら会場を回ってくださいました。曲は「ダンシング・ヒーロー」、会場の皆さんがパーツと笑顔になりました。楽しい時を有難うございました。

会も終盤になり、「商工会女性部の歌」を女性部員で、「幸せなら手をたたこう」を全員で歌いました。みな輪になって、手をたたき、肩をたたき合つての和気あいあいのひと時でした。

最後に、来賓の皆様から、有難くも日頃の活動に対するおほめの言葉や、企業でも女性のパワーを発揮して欲しい等の期待の言葉をいただき

ました。そして、柳澤副会長から伺つた戦後初の女性国會議員、佐藤きよ子さんの「自分の事は人に求めるんじゃない。自分で汗をかきなさい。」は胸に刻みたい言葉でした。

和やかに三〇年を振り返りながら、多くの方々に支えられて来た事に感謝し、そして更に前進して行く事を祈念する有意義な会となりました。

広報委員 石井恭子



日帰り研修会

三月三日（火）ひな祭りの日に初めて研修会に参加させていただきました。ですが、その日程は、おかみさん経営塾講演と日本銀行本店見学、浅草散策と上野精養軒、という、本当に

盛りだくさんの一日でした。

まずは日銀につき、金融の流れをビデオで観て、改めて日銀さんが何をしているのか、「銀行の銀行」、「政府の銀行」また、災害時にはお札を新札に替えてくれるなどを認識しました。ガイドさんと一緒に、さて本館へ・・・

本館は130年以上たつており、東京駅と同じ辰野金吾氏の設計の石と煉瓦の構造で、八角形のドーム型も同じで、シャンデリアや、天窓吹き抜けを見、エレベーターも素敵な感じで、階段が鉄のところは重要文化財だそうです。お札の束や金庫、そして見本の金塊一5kgを皆で持つうとしてその重いこと・・・それから実際に営業している新館へ・・・大声を出さないようにして見学、天井を見ると蛍光灯がびっしりうまつているのが印象的でした。

次には本日のテーマの「手打ちそば十和田」で経営者でありながら、おかみさん会の名誉顧問、富永照子氏にお話しをお聞きしました。おかみさん会の活動や浅草の街おこしで常に新しい風を呼び起こした方です。浅草にはおかみさん会があるので、商工会女性部は台東区にはないそうです。

「町が良くなれば個人も良くなる」、「女性は炊事、洗濯だけをしていて



はだめ」・・・調布はどのようなところですかという質問で「深大寺があります」、「映画の街です」と言う」といろいろなイベントを行い、街おこしをして行かなくてはならない」と親身に、また、力強い言葉で話してくださいました。

私もこのままではいけない、もつと地域に貢献して、真剣に地域のことを考えなければならぬと思います。おいしいそば懐石をいただき、お土産もたくさん買って・・・次は浅草散策を若手芸人さんのガイドでまわります。浅草公会堂には多くの人々に愛された俳優さん、歌手や落語家の原寸手形が並べられています。私は仲見世通りしか歩いたことがなかったのですが、江戸

まち伝法院通り」という通りに入り、お店が立ち並び、白波五人衆が屋根などにいるのを見ながら進み、捕鯨船」というお店には、有名芸能人が良く立ち寄るといわずらしい「予約済」という看板を見、浅草寺につきました。お参りをし、三社祭の浅草神社にもお参りしました。そして上野精養軒でコーヒーをいただき、先輩方の地域のお話を聞きまして、興奮しながらバスに乗りました。最後に、林副部長さまはじめ、研修員の皆様ありがとうございました。

部員 北川由紀子



**調布探訪第十八弾
マヨテラス見学**

昨年（平成二十六年）六月調布にて見学専用施設「マヨテラス」がキ

ューピーのグループオフィス「仙川キユーポート」にオープンしました。女性部の探訪に丁度良いと思い、役員会に提案しようとしていた矢先のオープンとなり決定致しました。

しかし、オープン当初は見学者が多く、少し落ち着いた頃合いということ内で内倉事務局に掛け合せて頂き、平成二十七年二月六日午後三時三十分の予約の運びとなり、大勢の方々に参加して頂くことが出来ました。

「マヨテラス」に入ってみると、サラダをイメージして作られている椅子、その他にもトマト、ブロッコリー、パプリカ等のカラーが並ぶマヨネーズの容器を横にしたような「マヨネーズドーム」がお出迎えしてくれます。まずはこのドームの中でマヨネーズのイ、ロ、ハ、をコミュニケーションターの方から説明を受けました。発祥はスペインのメノムカ島とのこと。十八世紀半ばだそうで、マヨネーズの諸原料は卵、植物油、酢、etc.

また、大型スクリーンに工場の映像が流れ、一分間に六〇〇個の卵を機械で割る「割卵室」がとても迫力ありました。

マヨネーズの知識を深めることで、日々の食卓がより楽しくなればとの思いがあららこちらに込められたように感じました。

グリーンのカヤップの「キユーピーディフェ」は、コレステロールが気になる方におすすめ商品だそうです。

この一年、広報にご協力頂きまして本当にありがとうございました。

広報委員長

副部長 大竹勝子



編集後記

一年間行事に沿って、女性部の方々から原稿を頂いてまいりました。ここに、たつくり第三十号を無事完成することが出来ました。部員の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

広報委員一同

女性部創立三十年のあゆみ

(創立二十一年から三十年までの主な事業活動)

平成 18 年	平成 17 年
<p>10月 ポケット名簿発行 300部 役員宿泊研修会 東京電力福島第一原子力発電所・ 広野火力発電所 23名</p> <p>9月 共同募金活動協力 総合福祉センター 8名</p> <p>6月 日帰り研修会 がすてなーにがすの科学館・ 日銀貨幣博物館 31名</p> <p>5月 第21回通常部員総会 本人34名 委任81名</p> <p>3月 広報「たつくり」第21号発行 350部</p> <p>1月 新年研修会 講師 調布市長 長友貴樹氏 41名</p>	<p>3月 女性部設立20周年記念式典 73名 女性部設立20周年記念誌二十年のあゆみ 「たつくり」発行 300部</p> <p>5月 第20回通常部員総会 本人30名 委任74名</p> <p>7月 日帰り研修会 関東ブロック商工会女性部 交流研修主張発表大会 26名</p> <p>10月 役員宿泊研修会 商工会女性部全国大会（新潟大会） 主張発表大会 22名 商工まつり お楽しみ抽選会・ チャリティーバザー運営 延59名</p> <p>11月 広報「たつくり」掲載記事取材・ ふじみ衛生組合・二枚橋衛生組合 9名 福祉施設慰問「ちようふの里」 12名</p>

平成 19 年	平成 18 年
<p>11月 共同募金活動協力 総合福祉センター 9名</p> <p>10月 役員宿泊研修会 西湖いやしの里根場 16名 共同募金活動協力 総合福祉センター 8名</p> <p>8月 献血運動協力 調布駅南口広場 19名</p> <p>7月 日帰り研修会 関東ブロック商工会女性部 新入部員名簿作成 300部</p> <p>5月 第22回通常部員総会 本人24名 委任87名 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 16名</p> <p>3月 広報「たつくり」第22号発行 350部</p> <p>2月 広報「たつくり」掲載記事取材 深大寺・ 神代植物公園 7名</p> <p>1月 日帰り研修会 吉祥寺イルミネーション 25名 新年研修会 講師 商工会事務局長 安立千鶴子氏 31名</p>	<p>11月 共同募金活動協力 総合福祉センター 8名 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 10名 福祉施設慰問「ちようふの里」 10名</p>

平成 20 年	平成 19 年
<p>11月 歳末たすけあい運動事務協力 京王線立体交差事業第2工区工事現場 10名 広報「たつくり」掲載記事取材 チャリティーバザー運営 24名 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 13名 役員宿泊研修会 木島平村 18名</p>	<p>11月 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 17名 福祉施設慰問「ちようふの里」 8名 12月 広報「たつくり」掲載記事取材 京王フローラルガーデン 6名</p>
<p>1月 新年研修会 講師 江戸しぐさ語り部の会 辻川牧子氏 29名 3月 広報「たつくり」第23号発行 300部 4月 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 17名 5月 第23回通常部員総会 本人22名 委任83名 7月 日帰り研修会 キューピー仙川工場・ 柴太樓總本舗 29名 8月 献血運動協力 調布駅南口広場 14名 共同募金活動協力 総合福祉センター 7名 10月 商工まつり お楽しみ抽選会・</p>	

平成 22 年	平成 21 年
<p>1月 新年研修会 講師 落語立川流志の輔一門 立川志の吉氏 29名 3月 広報「たつくり」第25号発行 300部 4月 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 15名 5月 第25回通常部員総会 本人35名 委任85名 7月 一泊研修会 河口湖ステラシアター 関東ブロック商工会女性部交流研修会 15名</p>	<p>1月 新年研修会 講師 商工会長 原島芳一氏 24名 3月 広報「たつくり」第24号発行 300部 4月 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 11名 5月 第24回通常部員総会 本人28名 委任100名 7月 日帰り研修会 長野県伊那市かんでんばガーデン 30名 8月 献血運動協力 調布駅南口広場 14名 共同募金活動協力 総合福祉センター 10名 10月 商工まつり お楽しみ抽選会・ チャリティーバザー運営 25名 役員宿泊研修会 千葉県 大高醤油(株) 13名 11月 歳末たすけあい運動事務協力 総合福祉センター 11名 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 13名</p>

平成23年	平成22年
<p>1月 新年研修会 講師 調布市産業振興課長 田波利明氏 32名</p> <p>3月 広報「たづくり」第26号発行 300部</p> <p>4月 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 10名</p> <p>4月 第26回通常部員総会 本人25名 委任84名</p> <p>7月 一泊研修会 静岡県裾野市民文化センター 関東ブロック商工会女性部交流研修会 12名</p> <p>8月 献血運動協力 調布駅南口広場 10名</p> <p>9月 共同募金活動協力 総合福祉センター 8名</p> <p>10月 商工まつり お楽しみ抽選会・ チャリティーバザー運営 28名</p>	<p>8月 献血運動協力 調布駅南口広場 11名</p> <p>9月 共同募金活動協力 総合福祉センター 7名</p> <p>多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 13名</p> <p>10月 商工まつり お楽しみ抽選会 チャリティーバザー運営 23名</p> <p>日帰り研修会 京王フーラルガーデンアンジェ 13名</p> <p>11月 歳末たすけあい運動事務協力 総合福祉センター 7名 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 9名</p>

平成24年	平成23年
<p>11月 歳末たすけあい運動事務協力 総合福祉センター 9名</p> <p>多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 12名</p> <p>一泊研修会 茨城県かねふくめんたいパーク 13名</p> <p>11月 模擬店出店参加協力 20名</p> <p>第30回調布市花火大会 多摩川河川敷 チャリティーバザー運営 35名</p> <p>10月 商工まつり お楽しみ抽選会・ 総合福祉センター 8名</p> <p>9月 共同募金活動協力 総合福祉センター 8名</p> <p>8月 献血運動協力 調布駅南口広場 15名</p> <p>7月 日帰り研修会 茨城県お茶の丸太園・ 防災科学技術研究所 25名</p> <p>5月 第27回通常部員総会 本人35名 委任84名</p> <p>4月 多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 11名</p> <p>3月 広報「たづくり」第27号発行 300部</p> <p>1月 新年研修会 講師 調布市長 長友貴樹氏 30名</p>	<p>10月 歳末たすけあい運動事務協力 総合福祉センター 7名</p> <p>11月 日帰り研修会 かわさきエコ暮らし未来館 20名</p> <p>多摩川クリーン作戦 多摩川河川敷 12名</p>

平成 25 年

1月	新年研修会	講師 能楽評論家 金子直樹氏	29名
2月	ポケット名簿発行	300部	
3月	広報「たつくり」第28号発行	300部	
4月	多摩川クリーン作戦	多摩川河川敷	9名
5月	第28回通常部員総会	本人28名 委任76名	
6月	第97回日本陸上競技選手権大会	味の素スタジアム 「にぎわい広場」模擬店出店協力	33名
7月	一泊研修会	栃木県那須町文化センター 関東ブロック商工会女性部交流研修会	12名
8月	献血運動協力	調布駅南口広場	17名
9月	共同募金活動協力	総合福祉センター	8名
10月	スポーツ祭東京二〇一三「おもてなし広場」	模擬店出店協力	30名
11月	歳末たすけあい運動事務協力	総合福祉センター	9名
	第6回味の素スタジアム感謝デー	「フードビレッジ」出店	11名
	日帰り研修会	東京スカイツリータウン 「東京ソラマチ」	29名
	多摩川クリーン作戦	多摩川河川敷	11名

平成 27 年

平成 26 年

1月	新年研修会	講師 歌手 かとうれい子氏	26名
3月	広報「たつくり」第29号発行	300部	
4月	多摩川クリーン作戦	多摩川河川敷	10名
5月	第29回通常部員総会	本人33名 委任63名	
7月	一泊研修会	群馬県民会館ベイシア文化ホール 関東ブロック商工会女性部交流研修会	12名
8月	献血運動協力	調布駅南口広場	17名
9月	共同募金活動協力	総合福祉センター	8名
10月	第19回調布飛行場まつり	模擬店出店	19名
11月	歳末たすけあい運動事務協力	総合福祉センター	8名
	調布まちなかウォーキング2014	模擬店出店協力	12名
	多摩川クリーン作戦	多摩川河川敷	7名
12月	調布ウィンターフェスティバル	模擬店出店	11名
2月	創立30周年記念祝賀会		42名
3月	日帰り研修会	日本銀行本店 浅草手打ちそば十和田 講師 東京おかみさん会 名誉顧問 富永照子氏	19名
	広報「たつくり」第30号発行		250部